



2025年2月14日

各位

会社名 株式会社ナルネットコミュニケーションズ
代表者名 代表取締役社長 鈴木 隆志
(コード: 5870 東証グロース市場)
問合せ先 常務取締役 東村 大介
(TEL. 0568-20-9111)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年5月15日に公表しました通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期業績予想数値の修正について (2024年4月1日～2025年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 8,562 | 百万円 561 | 百万円 552 | 百万円 326 | 円 銭 61.14 |
| 今回修正予想 (B) | 8,354 | 359 ～408 | 348 ～397 | 190 ～222 | 35.63 ～41.63 |
| 増減額 (B-A) | △208 | △202 ～△153 | △204 ～△155 | △136 ～△104 | |
| 増減率 (%) | △2.4 | △36.0 ～△27.3 | △37.0 ～△28.1 | △41.7 ～△31.9 | |
| (ご参考) 前期実績 (2024年3月期) | 7,672 | 526 | 511 | 305 | 57.66 |

2. 修正の理由

当社の主力事業であるメンテナンス受託事業は、主にオートリース会社向けに法人向けリース車両のメンテナンス管理を受託しております。オートリース会社から受託した管理台数に応じた収益から、リース契約期間内に発生する各種点検車検費用や一部消耗品などの管理費用を差し引いたものが利益となります。

当事業において、第3四半期から第4四半期にかけて計画していた一部案件の受注の遅れが発生する見込みとなりました。一方で、新規受注における新車リース案件に伴うメンテナンス契約の獲得を強化した活動をおこなっており、結果として管理台数については2025年3月末の計画に対し91.7%の達成率となる84,000台となる見込みです。このうち、冬タイヤ契約を付保している新規契約は、リース契約期間初年度の冬季に支給されるケースがほとんどで、第3四半期から第4四半期において冬タイヤ関連費用が約120～133百万円増加する見込みです。

BPO事業においても一部案件の受注の遅れが発生する見込みとなりましたが、新たに提携を開始したWECARS店舗の販売車両の納車前整備が順調に推移し、売上高は通期業績予想通りとなる見込みですが、整備工場への委託コストが当初想定よりも増加したこともあり売上総利益については通期予想を下回る見込みとなりました。

MLS 事業については新規取引先の拡大と適正価格への見直しによる収益改善が順調に推移し売上総利益においては通期予想を上回る見込みです。

販売管理費においては、整備原価の増加に対して内部業務の効率化を推し進めてきた成果により、当初予算に対して合理化削減となる見込みです。

これらを勘案し今期業績予想の再精査をおこなったところ、売上高は当初見込みに対して97.6%の達成率となる見込みですが、既存契約案件において価格見直しの対象となる契約が想定以上に伸びなかったことと、新たに獲得した新車契約の初年度における冬タイヤ支給に際するコスト増加による収益率の低下となり、販売管理費の合理化削減は進んだものの、各段階利益が前回発表予想を下回る見込みとなりました。一方で受注の遅れとなったメーカー系案件については2月から開始となっており、次年度における新たな収益源となります。また、新たな新車契約については次年度以降の契約期間においての将来見込収益となります。

第4四半期は、冬タイヤ交換に加え車検の実施などが増加する時期でもあり、特にメンテナンス受託事業における当該期間の想定原価の3%~4%程度は変動いたします。

このような状況を勘案し、2025年3月期通期業績予想につきまして、レンジ形式にて通期業績の見通しを修正いたします。

なお、当初予想の年間配当金に関する修正はございません。

※上記の業績予想は、現時点において合理的と判断できる情報に基づき判断したものであり、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以 上